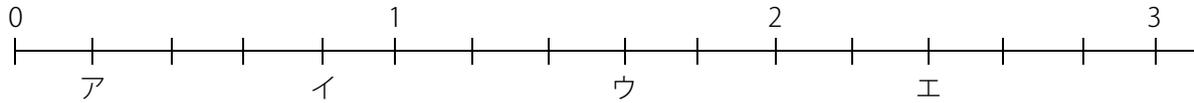




## 例題と解説

### 例題 1

ア～エのめもりが表す分数を答えなさい。



答え ア  $\frac{1}{5}$  , イ  $\frac{4}{5}$  , ウ  $1\frac{3}{5}$  , エ  $2\frac{2}{5}$

#### [例題 1 の解説]

1を5等分しているのので、めもり1つは $\frac{1}{5}$ であることがわかります。

よって、ア $=\frac{1}{5}$  , イ $=\frac{4}{5}$  , ウ $=1\frac{3}{5}$  , エ $=2\frac{2}{5}$

### 例題 2

$2\frac{1}{4}$ は $\frac{1}{4}$ が何個分ですか。

答え 9個分

#### [例題 2 の解説]

$2\frac{1}{4}$ を仮分数に直すと、 $\frac{9}{4}$ なので $\frac{1}{4}$ が9個分。



## 例題と解説

### 例題3

$2\frac{1}{3}$ と $\frac{8}{3}$ はどちらが大きいですか。

答え  $\frac{8}{3}$

[例題3の解説]

$2\frac{1}{3}$ を仮分数に直すと、 $\frac{7}{3}$ だから $\frac{8}{3}$ のほうが大きいことがわかります。

分母が同じであれば、分子が大きいほうが分数は大きくなります。

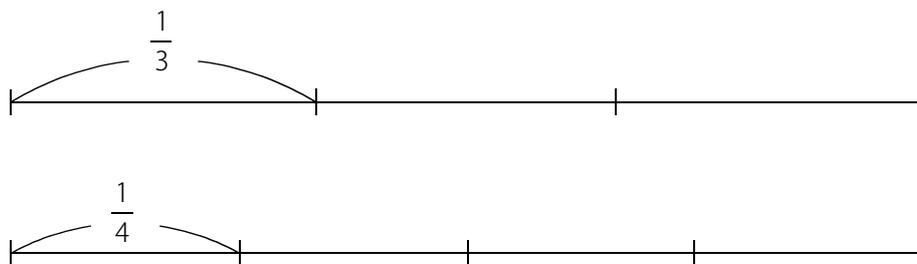
### 例題4

$\frac{1}{3}$ と $\frac{1}{4}$ はどちらが大きいですか。

答え  $\frac{1}{3}$

[例題4の解説]

線分図で考えましょう。



上図より $\frac{1}{3}$ のほうが大きいことがわかります。

分子が同じであれば、分母が小さいほうが分数は大きくなります。



## ポイントまとめ

- 分母が同じであれば、分子が大きいほうが分数は大きくなります。
- 分子が同じであれば、分母が小さいほうが分数は大きくなります。